



射水市立小杉小学校 学校だより

杉っ子

第5号

令和4年7月22日

1学期間のご協力ありがとうございました 有意義な夏休みに！

連日の蒸し暑さをものともせず、元気な子供たちの歓声が今日も聞こえます。

先日、登校した6年生が「1年生が転んで足から血を流しています」と、教えてくれました。「どこにいるの？」と聞くと、「もうすぐ来ます」との返事。先に行って報告する人、ランドセルを持ってあげる人、手当をする人などに分かれて、助けてくれたようです。何人もの先輩に助けられて学校について1年生に、「ひざは痛いけど、たくさんの人が助けてくれてよかったね」と言うと、大きくなついでいました。

誰一人、大きな事故にあうことなく、学校生活を無事、送ることができたのも、家庭、地域の皆様のご協力のおかげです。また、新型コロナウイルスへの対策を講じながらの学校運営にも、ご理解ご協力をいただき、重ねてお礼申し上げます。

今日の終業式では、次の三つのことを話しました。

1 「ありがとう」を伝える

学校で過ごす中で、皆さんは「思い通りにならないことにも対応する力」をつけてきました。相手にも事情があったのかなと想像する力、気持ちを切り替えて行動する力、自分の思いを正しい言葉で伝え相談する力を身に付けています。今、元気に笑顔でいる自分をまず、ほめてあげましょう。そして、学校へ送り出してくれた家族、同じ教室で過ごした友達、お世話になった先生に「ありがとう」を伝えましょう。

2 自分の命は自分で守る

一瞬の不注意で命を落としたり大きなけがをしたりすることがないように、ルールをしっかり守って過ごしましょう。

3 継続は力なり

1日30分、何かを続ければ夏休みだけで18時間になります。自分で決めた夏休みの目標を続けられるように挑戦しましょう。

子供が命を落とす原因の一番は交通事故、次が水の事故です。交通ルール、夏休みの約束を守っているか、折に触れ、お子さんと確認していただき、37日間の夏休みを充実したものにしてください。自分で決めて挑戦したり工夫したりしたことは、大きな自信につながります。お子さんの挑戦を励ましてあげてください。

8月29日の始業式に元気な子供たちと会えることを楽しみにしています。



町内別児童会で危険なところなどを話し合いました